

①個別データシート

整理番号:

JP308008

種類

製品

英名

wooden floor

分類

木材・木製品(家具・装
備品を除く)

和名

木質フローリング

・GHG排出量

3.33E+02 kg-CO2e/m3

・情報源分類

その他調査データ

・技術記述子

木質フロアの製造

・技術の内容と機能

(合板、ツキ板)～接着～塗装～乾燥

主要原材料: 広葉樹合板、ツキ板

主要産出物: 天然銘木フロア材

購入した広葉樹合板の表面に0.3ミリ程度のツキ板(フリッチ)を接着塗装仕上げをする工程を対象範囲とする。

工場内で出る木質廃材はすべて燃料として利用している。

・情報源

林野庁: “環境負荷型木質資源利用促進調査”, (2000)

広葉樹合板にツキ板を接着塗装乾燥する工程

・データ作成者コメント

・“環境負荷型木質資源利用促進調査”より作成。年間約500万坪の生産能力を持つフローリング工場を対象に調査を行ったデータに基づく文献である。

・購入した広葉樹合板の表面に0.3ミリ程度のツキ板(フリッチ)を接着塗装仕上げをする工程を対象範囲とする。

・工場内で出る木質廃材はすべて燃料として利用している。

・接着剤、塗料の使用量は不明

・適用範囲

広葉樹合板にツキ板(フリッチ)を接着塗装して製造したフローリング材である。

床板の1種である。

製品1m3当たりの原単位で示されている。

・システム境界

資源採取から製品の製造までを範囲とする。製品の日本国内における輸送を含まない。包装材を含まない。輸送のための梱包材を含まない。排水処理を含まない。産廃処理を含まない。

・配分

共製品はなく配分なし。

・GHG排出量の要因

主なGHG排出源は、普通合板(合板)由来のCO2(化石資源由来)、電力、系統電力(電力)由来のCO2(化石資源由来)、である。

②入出力データ

区分	フロー区分	品目名	連鎖した品目名	公開整理番号	数値	単位	備考	
ユーティリティ	中間フロー	入力	電力	電力,公共	JP120001	1.42E+02	kWh	
ユーティリティ	中間フロー	入力	燃焼・A重油	燃焼・A重油	JP111016	2.26E+00	L	
資源/原材料	中間フロー	入力	木くず	木くず	*	4.53E+01	kg	
資源/原材料	中間フロー	入力	フリッチ	単板(ベニヤ板)		1.66E+03	円	
資源/原材料	中間フロー	入力	合板	普通合板	JP308013	1.05E+00	m3	
大気圏排出物	基本フロー	出力	CH4			4.82E-02	kg	燃料に使用木質 廃材45.3kg燃焼 分
大気圏排出物	基本フロー	出力	CO2(バイオマス起源)			8.27E+01	kg	燃料に使用木質 廃材45.3kg燃焼 分
製品	中間フロー	出力	木質フローリング	木質フローリング	JP308008	1.00E+00	m3	